

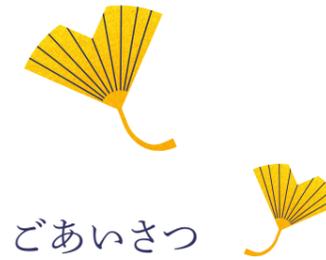
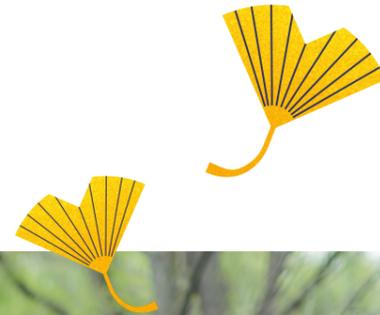


# 北海道大学 法学部 2026

School of Law  
HOKKAIDO UNIVERSITY



ルールを知る。  
ルールを問う。  
ルールを造る。  
社会の基礎を探り、  
未来を構想する。



ごあいさつ



札幌農学校に起源をもつ北海道大学は2026年に創基150周年を迎えます。北海道大学は、「フロンティア精神」、「国際性の涵養」、「全人教育」、「実学の重視」という4つの基本理念を建学の精神として発展してきましたが、今後は、Sustainability(150年先の未来を守るために)、Innovation(世界の課題解決に向けて)、Diversity(多様性にひらかれた教育・研究の場)の3つのテーマを一体として推進することで、より明るい社会の実現を目指します。

北海道大学法学部も、4つの基本理念を受け継ぎ、今後は、新しい3つのテーマを踏まえて、優れた教育・研究能力とその成果を用いて、地域の課題解決のために広く社会へリーチアウトすることを目指します。

そのため、法学部では、学生の多様性をより高め、法律学と政治学の基本的な知識と考え方のみならず、その応用、他の学問分野との融合的な視点等も教授して、新しい社会課題の解決に寄与し、グローバルに活躍することのできる人材を、国内のみならず、世界に送り出すことを重要な使命と考えています。

その使命を実現するため、法学部では、多様なバックグラウンドをもち、学界において高い評価を受けている教員、豊富な実務経験をもつ教員等が、学生のニーズに対応した丁寧な教育と卓越した研究を行っています。

法学部には、学生の視野を広げ、思考を鍛える優れた教員、充実した学習環境、美しい自然、そしてなにより、優秀な仲間や先輩がそろっています。大志を抱いた学生を歓迎します。

北海道大学 法学部長  
佐々木 雅寿



北海道大学 法学部  
School of Law  
Hokkaido University

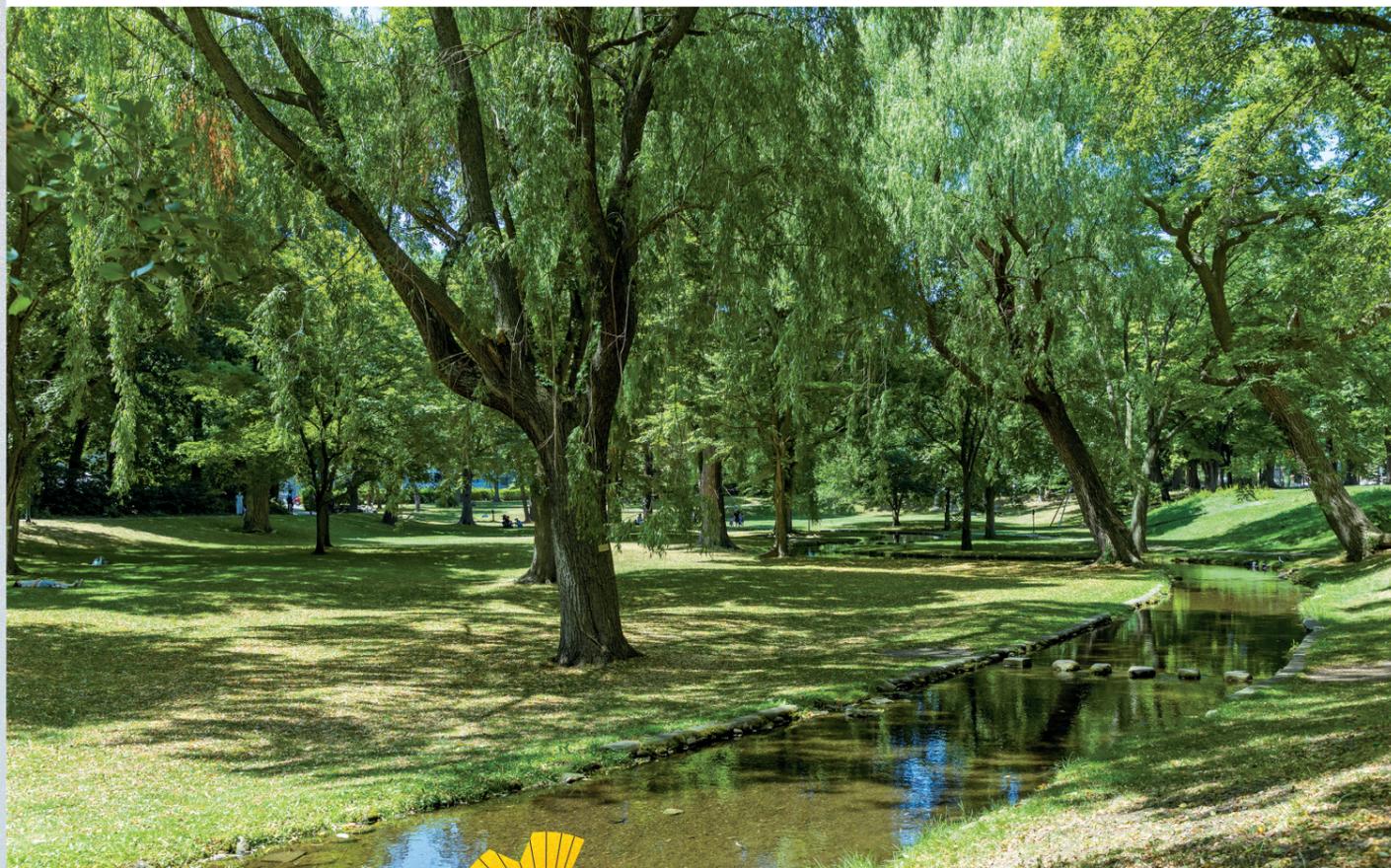
### ロゴマークに込めた思い

北大キャンパスの楡(にれ・エルム)の木は、豊かな土壌からたっぷりと養分を吸い上げてぐんぐんと伸び、たくましい幹から若葉を繁茂させています。北大法学部のロゴマークは、このような「楡の巨木」をモチーフにしています。

法学・政治学は、自由かつ平等な社会の実現を目指す営みです。さまざまな方向に茂る若葉は自由を、左右対称のデザインは平等を表現しています。このデザインには、北大法学部という空間において自由に学び、思い思いに世界を広げ、成長を遂げるという学生と教職員の決意もこめられています。

中心におかれた書物は、古代以来先人たちが作り上げてきた人智の泉である法学・政治学を象徴するものであり、左右に色の異なる枝葉が広がっていることで、これらの学問が北大法学部の両翼をなすことを表しています。

このロゴマークは、1963年に制定された学部章を60年ぶりにリニューアルしたものです。先人たちが築き上げた伝統を受け継ぎつつ、時代の変化に応じて進化し続ける北大法学部の精神を体現しています。



## 3 教員との距離の近さ

学部定員200名に対して約70名の教員が指導に当たります。授業でわからないことがあっても、教員に気軽に質問できる環境があります。

## 4 充実の研究環境

国内有数の約380万冊の蔵書を誇る北海道大学附属図書館のほか、法学部の法学・政治学資料センターには、国内外の最新の法学・政治学に関する学術雑誌や判例集などがそろっています。豊富なデータベースや電子ジャーナルには、自宅からもアクセスできます。



## 1 大らかさと多様性

日本で初めて学士号を授与した教育機関・札幌農学校を前身とする北海道大学。法学部は1947年の創立以来、大らかで自由な校風で知られています。多文化共生・スラブ世界との交流 — 多様性あふれる北海道の大地で、全国・全世界から集まる学生たちが新しい文化や価値観を発信しています。

## 2 自然豊かな都心のキャンパス

JR札幌駅からほど近く、東京オリンピック2020のマラソン会場になった広大な美しいキャンパスで有名です。桜・ポプラ・イチョウ、市民と動物の憩いの場ともなる緑の芝生、小川のせせらぎ、そして白銀の世界。四季の色彩豊かなキャンパスライフは生涯の思い出になるでしょう。



## 5 自習室・ミーティングルーム

附属図書館の自習スペースのほかに、法学部専用の自習室・ミーティングルームもあり、毎日夜遅くまで、学生たちが熱心に勉強に励んでいます。

### 北大法学部に入るには

入試形態	日程	募集人数
一般選抜	学部別入試	前期日程 2月25日 140人
		後期日程 3月12日 40人
	総合入試文系	前期日程 2月25日 95人
		国際総合入試 11月16日 5人

詳細はこちら  
[北海道大学]  
↓  
[入学案内]



※このほかに、私費外国人留学生入試、帰国生徒選抜があります。

<https://www.hokudai.ac.jp/admission/>

### 経済面からのサポート

経済的に修学が困難な学生には、さまざまな経済的援助の制度があります。北海道大学で扱う奨学金は、日本学生支援機構、民間・地方自治体等の奨学団体の奨学金があります。また、入学金・授業料の減免または徴収猶予の措置があります。

#### 入学金・授業料

[北海道大学] → [学生生活] → [各種手続き・証明書] → [入学金・授業料]  
<https://www.hokudai.ac.jp/gakusei/campus-life/certificates/tuition.html>



#### 奨学金

[北海道大学] → [学生生活] → [各種手続き・証明書] → [奨学金]  
<https://www.hokudai.ac.jp/gakusei/campus-life/certificates/bursary.html>



法学部で学ぶことは、ルールを知り、それをどう使うかだけではありません。今あるルールを疑い、新たなルールを造ることも必要です。よりよい社会の実現のためにどんなルールが必要かを考えるには、社会の状況を知り、政治学、社会学、哲学・思想、歴史などの知見を総動員することが求められます。法学部の授業は6つの分野に大別されます。



## 民法

私人間の関係を法でどう規律するか

A会社は、B会社の運営するブランド名(CHANEL)がプリントされた素敵なデザインの洋服を仕入れるために、C会社から20着購入することにして代金を支払った。しかし、C会社から納品された洋服は、B会社がつけている洋服とデザインは同じだったが、微妙に異なるブランド名(CHANEL)がプリントされた二セモノだった。

- 民法
- 商法
- 民事訴訟法
- 国際私法
- 知的財産法



A会社には、二セモノを納品したC会社に対して、どのような請求をする権利があるのでしょうか(民法)。会社同士の取引には、個人同士の取引とはちがう特別なルールはあるのでしょうか(商法)。また、B会社には、二セモノの服を販売するC会社に対して、どのような請求をする権利があるのでしょうか(知的財産法)。B会社がC会社に請求できるとして、言っただけではC会社が請求に応じない場合は、どのようにすれば強制的に権利を実現してもらえるのでしょうか(民事訴訟法)。C会社が外国の会社である場合は、何か違いが生じるのでしょうか(国際私法)。民法は、場面に応じて、人々の間にどのような権利・義務があり、これらをどのようにして実現するのかについて、どのようなルールが適切なかを考える法分野です。

## 社会学

社会的弱者や市場秩序を法でどう守るか

- ① アルバイト先で残業したのに賃金が支払われない。どうすればいいだろうか。
- ② 国民年金の案内が来た。保険料は払わなければならないのだろうか。
- ③ A社のBというゲームソフトは、どの店でも同じ値段だ。おかしくないだろうか。



- 労働法
- 社会保障法
- 経済法

社会学は、民法や公法に比べるとかなり遅れて登場した法分野です。対等な当事者関係にあることを前提として解決できない社会問題に対応するための法領域といえます。多くの人は労働者として、企業で働きます。では、企業は労働者に長時間の就労を求めたり、企業の都合で一方的に労働者を解雇することができるでしょうか。解雇されたり、定年退職した場合の生活費はどのように確保されるのでしょうか。また、生活に不可欠な商品やサービスを不当に高く買わなければならないとしたら、どうなるでしょうか。このように、社会学は日常生活に密接に関わる出来事を扱います。身近な「生活」という視点から社会・世界を分析検討する営みが、社会学の醍醐味といえます。

## 刑法

罪を犯した人を法でどう処罰するか

AがBをピストルで射殺したという事件が発生した場合、Aには当然に殺人罪が成立するのだろうか? 事件の発生後、Aの刑事責任が裁判で決定されるまでに、どのようなプロセスが待っているのだろうか? Aが刑事施設に入ることになった場合、再犯を防ぐにはAをどのように処遇すればよいのだろうか?



- 刑法
- 刑事訴訟法
- 刑事政策

刑法では、「犯罪とは何か」、「犯罪行為と、犯罪ではない行為はどのように区別されるのか」、「刑罰はなぜ科せられるのか」といった、本質的な問題について検討します。また、実際に犯罪が発生した場合に、どのような手続で捜査し、犯人を起訴し、そして裁判を進めて有罪・無罪を決定するかを考えるのが、刑事訴訟法です。さらに、有罪が決定した場合に、その人が犯罪を繰り返さないようにするにはどのような処遇がなされるべきかを、隣接諸科学の知見をも参考にしながら考察するのが、刑事政策です。このように、刑事法学では、3つの領域を有機的に関連づけながら、そして常に現実を直視しつつ「犯罪」と「刑罰」を深く追究します。

## 公法

公権力や国際関係を法でどう規律するか

Aは、日本の公立高校で成績抜群の2年生(17歳)。外国籍の両親から日本で生まれ、外国へ行ったことはない。両親は、就労ビザが切れた後も日本で働いていた。一家は非正規滞在を理由に、両親の本国に強制送還されそうである。Aは北大法学部に進学したい。日本に残ることができるか?



- 憲法
- 行政法
- 国際法

現代では、国家権力をどう捉え、いかに規律するかという大きな課題です。法学部では、国家と市民の関係を扱う憲法と行政法、国家間の関係を扱う国際法を学び、これに迫ります。憲法は、国家の最高法規であり、国家の権力を縛ります。行政法は、とくに行政権に着目し、行政と市民の関係にかかわる法律群をカバーします。国際法は、他国との関係で国家権力を制約します。上の例では、憲法の観点からは幸福追求権や外国人の人権保障、行政法では、たとえば出入国管理法の下で外国人の退去強制を決める法務大臣の裁量の範囲など、国際法では、社会権規約(家族の保護)、自由権規約(同)、子どもの権利条約(子どもの利益の優先、父母からの分離の禁止)の適用などについて、議論されます。

## 政治学

法、制度、公共政策をどう創造するか

政権交代や政策転換など、政治の変化はなぜ起こるのか。超高齢化、グローバル化、気候変動問題の拡大の中で、我々の未来はどうなるのか。従来の国際秩序が揺らぐ中、世界はいかに変化するのか。自由、格差とは何か。こうした多岐にわたる問いに対し、政治を学ぶことがどう役立つのか。



- 政治学
- 行政学
- 国際政治
- 政治史
- 政治思想史

政治学は、エネルギー、食糧、資金、軍事力など様々な資源の配分をめぐる対立がなぜ起こり、それをいかに克服するかを探究する学問です。世界や国内の政治問題が日々報道される中、現状を理解し、将来を左右するシグナルを見抜く眼力を養うには、単に情報を積み上げるだけでは十分とはいえません。歴史や思想を学び、その基盤の上に現象を分析的に見るための視角を身につけることによって、今日の世界と日本が抱えるさまざまな問題への処方箋を描き、法律や政策に組み上げていくことが可能となります。政治学は過去と未来とを結ぶタイムトラベラーであり、そこに時間を超えた探究の醍醐味が存在します。

## 基礎法学

法自体にどのような意義や価値があるか

私たちを取り巻いている近代以来の法制度は、何を目的とし、どのように組み立てられて来たのか? 人々の自由や平等は、どのように保障されているのか? 人々はそれをどう活かしているのか? その保障は近代以前の時からどのように変化したのか? そしてさまざまな社会に於いてどう異なるのか?



- 法哲学
- 法社会学
- 法史学
- 比較法
- 法と経済学

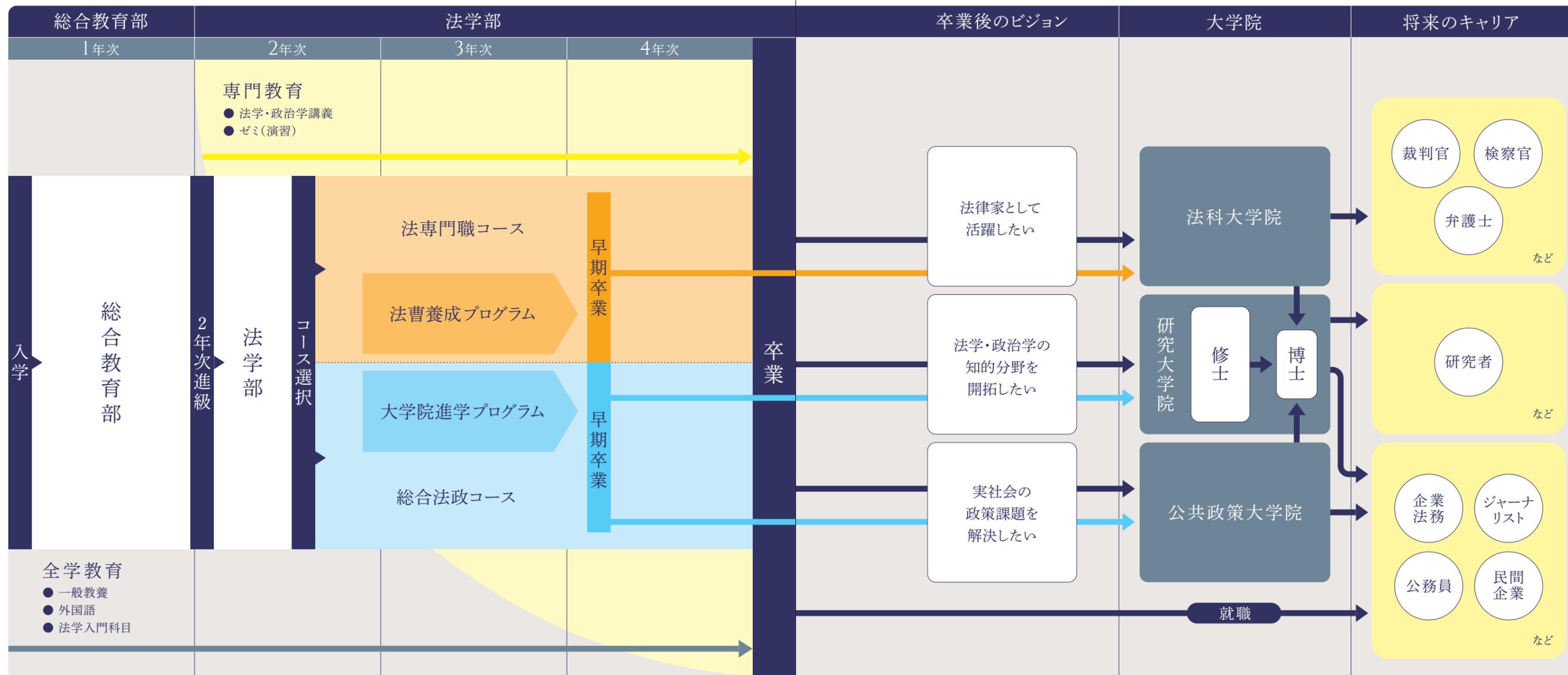
社会における人間の活動は政治、経済、文化など多岐にわたり、法はそのすみずみまで関わって、私たちの生活を支え、保障しています。法律ばかりでなく、慣習や社会通念、公共道徳などもそこには働き、その担い手も法曹のみならず、政府や企業、市民団体、法学者、そして法学を学ぶ皆さんや一般市民とさまざまです。個人の自由と人々の平等は近代以来の法の基本価値であり、法はその実現のために組み立てられ、運用されるべきものです。しかし、自由と平等は相反することもあり、それをどう調整するか、法はその解決の試みの積み重ねとも言えるでしょう。そして、そこには法の歴史があり、また、さまざまな社会で異なる法が組み立てられて、人々の権利や利益が守られているのです。このように、思想、社会、歴史、比較などの幅広い視野から法そのものの意義と価値を考えるのが基礎法学です。

# 入学後のイメージ

北海道大学に入学すると、全員が総合教育部に所属し、幅広い教養や外国語を学んで視野を広げるとともに、法学・政治学の入門科目を学びます。



2年次から法学部に所属し、専門科目を中心に履修します。2年次第2学期からは、法専門職コースと総合法政コースのいずれかを選択し、それぞれの関心・進路に応じた専門学修を深めます。総合入試文系で入学した学生も、20名が1年次終了後に法学部へ移行し、2年次から法学部に所属します。



### 法専門職コース

基本的な法律についてより重点的に学習し、法律知識を前提とした専門的な職業に就くことを目指すスペシャリスト養成コースです。

こんな人におすすめです

- 法曹(裁判官・検察官・弁護士)
- 司法書士
- 弁理士

そんな将来を志す人に

### 総合法政コース

社会の多様な分野で活躍することを目指し、その前提となる法的素養と政策判断能力、さらには幅広い視野と国際感覚を身につけたジェネラリスト養成コースです。

こんな人におすすめです

- 公務員
- 外交官
- 国際機関職員
- 民間企業
- ジャーナリスト
- 政治家
- 法学政治学研究者

そんな将来を志す人に



## 1年次

宮城県 仙台第一高等学校 出身

増井 萌々花 さん



“ 専門科目への導入と共に  
積極的な学びの機会の活用 ”

1年次は総合教育部に所属し、外国語や教養科目を中心に学びます。法学・政治学に限らず、自分の興味関心に応じて様々な分野の授業を履修できるのが総合教育部の魅力です。加えて、北大法学部には自主学習を行う大学公認のサークルが複数あるため、私は、①ジェサップ国際法模擬裁判大会への参加、②夜間法学教室で法律答案作成の練習にも取り組んでいました。ジェサップは、架空の国際紛争を題材として、原告・被告の代理人として法議論を戦わせるゲームです。国際法の授業をまだ受けたこともない初学者でしたが、先輩と同級生に支えられ、法廷という舞台で弁論をやり切ることができました。国を代表する弁護士なのだという緊張感を持って法廷に立ち、裁判官と対話するという、貴重な経験をすることができ、将来の夢への思いがより一層強くなりました。

### 時間割例 (1学期)

	Mon.	Tue.	Wed.	Thu.	Fri.
1		アメリカ史と人種・ジェンダー			法学入門I
2	フランス語 I		映画批評を書く	フランス語 演習	英語 演習
3					英語II
4	英語I		法学入門III	フランス語 I	情報学 I
5	哲学の問題群			一般教育 演習	

### 時間割例 (2学期)

	Mon.	Tue.	Wed.	Thu.	Fri.
1		大学生と学習意欲		野生動物と社会の関係論	
2	フランス語 II		英語 技能別 演習		
3		英語 演習	法学入門II	魅力と努力の心理学	フランス語 演習
4				フランス語II	
5	体育学B			価値対立時代の対話学	

## Schedule

ジェサップ前の一日

07:00	起床
08:30	登校
08:45	午前の授業
12:00	昼休み
13:00	午後の授業
16:15	自習
18:30	サークル活動
21:00	帰宅
22:00	自由時間
24:00	就寝

サークル仲間と食事しながら白銀祭について打ち合わせ

ICJの判例や国連・ILCの文書を読みリサーチ

## 2年次

愛知県 滝高等学校 出身

中平 大揮 さん



“ 専門科目とゼミ(演習)が本格的にスタートします ”

2年次から法学部の専門科目が本格的に始まります。履修の自由度は高いため、皆さんが想像しているような民法、刑法等の実定法のみならず、基礎法学や政治学などの様々な分野を学ぶことができます。また、2年次から履修出来るゼミ(演習)では、自分の興味に応じた分野をより深めることができ、事前に学習して積極的に参加する姿勢が求められます。2年次は大学生活に慣れ、サークルやバイト、課外活動に積極的に取り組む学生が多く見られます。私も授業がない時間に友人と道内をドライブするなど、充実した日々を送っています。

### 時間割例 (1学期)

	Mon.	Tue.	Wed.	Thu.	Fri.
1		民法I		法哲学	
2	憲法I	アメリカ政治史	憲法I	民法I	現代政治分析
3	法哲学	刑法I		アメリカ政治史	刑法I
4		現代政治分析			
5					

### 時間割例 (2学期)

	Mon.	Tue.	Wed.	Thu.	Fri.
1					法学入門I
2	民法II	比較政治	商法I	教育心理学講義	
3	商法I			刑事訴訟法	比較政治
4	刑事訴訟法		民法II		
5					

## Schedule

アルバイトのある1日

07:30	起床
08:30	登校
08:45	午前の授業
12:00	昼休み
13:00	午後の授業
16:30	下校
18:00	アルバイト
22:00	帰宅
24:00	就寝

まかないつきのバイトはお得です!

YouTubeで息抜きをしつつ課題をします

## Schedule

学生委員会の一日

07:00	起床
08:00	登校
08:45	午前の授業
12:00	昼休み
13:00	午後の授業
14:45	自習
18:30	学生委員会の活動
20:00	帰宅、自由時間
24:00	就寝

バス・地下鉄

購買や食堂を利用します!

図書館や自習室で、課題や授業の予復習など

定例会議への出席やイベントの企画・実施

日記を書いたり、本を読んだりしてから

## 3年次 総合法政コース

北海道 北海高等学校 出身

佐藤 李音 さん



“ 法律・政治・社会など幅広く学びを深めます ”

総合法政コースでは法律学だけでなく、「法」に関する幅広い分野に目を向け、自分の興味・関心に沿う形で学習を進めていくことができます。2年生以降に専門科目の勉強をしていく上で、「どの講義を履修するか」という選択の自由度が高い点が魅力です。ある授業で得た知識が他の授業での学びに繋がったり、よく理解できていなかった分野のことが別の分野の学習を通して見えてきたり、という喜びや楽しさを実感できます。課外活動としては学生委員会に所属し、在学生・新入生・受験生などを対象とした活動を行って、充実した日々を送っています。

### 時間割例 (1学期)

	Mon.	Tue.	Wed.	Thu.	Fri.
1		行政法I	商法II	民法III	
2		労働法	専門外国語	行政法I	
3	民法III	法史学II		労働法	法史学II
4	商法II		比較法I		比較法I
5					演習II

### 時間割例 (2学期)

	Mon.	Tue.	Wed.	Thu.	Fri.
1		政治学		行財政論	
2	行政法II	法史学I	民法IV	政治学	知的財産法
3	民法IV	行財政論	知的財産法		法史学I
4			行政法II		
5		演習II			

## Schedule

勉強と息抜きを両立したある一日

9:00	起床
10:00	登校
10:30	午前の授業・自習
12:00	昼休み
13:00	午後の授業・自習
16:30	下校
18:00	エスコフィールドで野球観戦
22:00	すすきのでラーメンを食べる
23:00	帰宅
24:30	就寝

自転車で

構内のセイコーマートで食事

図書館でゼミの準備をすることも多い

## 3年次 法専門職コース

北海道 釧路湖陵高等学校 出身

二瓶 透弥 さん



“ 法律科目の理解をより深めます ”

自分の興味がある実定法科目(憲法・民法・刑法・商法などの法律が定められている法分野)の授業を多く履修するために「法専門職コース」を選択しました。北大法学部の魅力として、先生と学生との距離が近いことを挙げるができます。私は、1学期に刑事訴訟法、2学期に民法の演習(ゼミ)を履修しましたが、担当の先生が熱心に指導してくださったおかげで、法的思考力や議論する能力を身につけることができました。また、私は法学部の公認サークルの一つである「法律相談室」に所属しています。このサークルでは、市民の方からの法律相談を無料で受け付けたり、同じ志を持つ仲間と一緒に勉強したりと、法律についての理解を深めることができ、とても素敵な経験をすることができています。

### 時間割例 (1学期)

	Mon.	Tue.	Wed.	Thu.	Fri.
1		行政法I	商法II	民法III	
2	国際法II	経済法	国際法II	行政法I	民事訴訟法I
3	民法III	社会構造論		経済法	
4	商法II	民事訴訟法I			
5					演習II

### 時間割例 (2学期)

	Mon.	Tue.	Wed.	Thu.	Fri.
1				ヨーロッパ政治史	
2	行政法II		民法IV		知的財産法
3	民法IV	ヨーロッパ政治史	知的財産法		
4			行政法II		
5		演習II			



## ゼミ紹介

### 民法ゼミ

山木戸 勇一郎 教授

年度によって取り扱う内容は異なりますが、民事訴訟法・執行法・倒産法などの手続法およびこれに関連する実体法の重要な単元に関する判例を検討することを通じて、民法の重要事項について基本事項の正確な理解と応用事項の思考力の養成を目指しています。また、手続法に関する教科書的な理解をさらに深めるために、教材用の民事事件記録を用いて、裁判所・原告訴訟代理人・被告訴訟代理人に役割分担をして、模擬法廷を行うこともあります。例年、法曹実務家を目指している学生が圧倒的に多いですが、法学研究者を目指している学生や法律関係の公務員や資格取得を目指している学生、民間企業への就職を目指している学生もいます。

#### Student's Voice

法律は抽象的な議論が多く、なかなかイメージがわきにくい学問だと思われがちですが、ゼミで事例に触れながら議論し合うことによって、民法が世の中でどのように運用されているのかがイメージしやすくなります。



### 憲法ゼミ

佐々木 雅寿 教授

日本国憲法の解釈に1つの正しい答えがあるとは限りません。ですから、このゼミは、1つの正しい答えを見つける場ではなく、さまざまな意見にふれた後、自分自身の考えをまとめるための場です。とはいっても、憲法の解釈は自由に行うものではなく、議論の立て方には一定の枠組みがあり、その枠組みは主に判例と学説によって作られています。そのため、このゼミでは、憲法の主要な論点について、議論の枠組み(問題のとらえ方、判例、学説)を理解し、他のゼミ生との議論をふまえて、自分の考えを整理すること、つまり、検討すべき事項をすべて考慮に入れて自分の頭で考えることが求められます。そして、法的な議論には、理由と結論の両方に明快さと説得力が要請されます。

#### Student's Voice

各回の担当者は、興味のあるテーマに関する判例や学説、論点を整理して発表します。複数の判例を精読することで、裁判官の考え方を理解しやすくなり、また、先生や他のゼミ生と刺激のある議論ができるのが魅力だと思います。



## ゼミとは?

ゼミとは、少人数の学生の討論や調査・報告を中心とした授業(演習)のことです。学生が事前に調査・研究したことを報告し、その報告内容について全員で議論をしたり、みんなで文献を読んで討論したりします。英語を使って世界の大学と討論するゼミもあります。大教室で行われる講義とは異なり、学生にはより積極的・主体的な学習姿勢が求められます。

北海道大学法学部では、ゼミ(演習)の履修は必修です。入門編の2年次向けには通常の講義と同じ90分、応用編の3・4年次向けには、じっくりと議論を深められるように1.5倍の135分のゼミが提供されています。

ゼミのテーマも進め方も、科目や教員によってさまざまです。ゼミには教員と学生が作り出す独自のカラーがあり、ゼミは法学部の文化そのものです。



## ゼミのメリット

### 1 少人数での議論を通じた人間づきあいの場

最大20名程度の少人数制。教員と学生そして学生同士の距離がとても近く、白熱した議論を通じて、生涯の友人と出会う場でもあります。合宿やフィールドワークを行うこともあります。

### 2 深化した学習で学問を追求

1つのテーマを掘り下げることにより、講義で学んだ知識を定着させ、応用可能なものにしていきます。学問そのものの面白さを感じたり、純粋な知的好奇心を追求したりできるのが醍醐味です。

### 3 プレゼン能力・対話スキルを育む

議論を充実させるには、報告者は、他の参加者にわかりやすく説明しなければならず、他の参加者も、報告内容や他者の話をよく理解して、自分の意見を論理的に述べなければなりません。異なる立場や意見の人との対話スキルが高まります。

### 政治思想史ゼミ

眞壁 仁 教授

「北大政治学」の特徴は、歴史と思想を重視していることにあります。現代社会は積み重ねられたそれ以前の経験をもとに成り立ち、政治思想における概念や世界観など、私たちの知識は歴史に制約されています。しかし他方で歴史は、私たちの想像力や創造性の源泉です。政治思想史のゼミでは、政治学の古典的テキストの精読をとおして、①作者がその作品で伝えようとした課題はなにか、②その処方箋は当時の政治社会でどのような意義をもっていたのか、③その後の歴史展開のなかでそれはいかに解釈されてきたのか、さらに④そのテキストの問題設定と内容は、現代社会に生きる私たちにとっていかなる思想的示唆を含んでいるかを考えます。

#### Student's Voice

各回の担当者には、文面をなぞる要約ではなく、各種の論点を見つけ、事前にいくつかの問いを発することが課されます。それらをもとに討論形式で進められるゼミでは、先生を含めて出席者全員に、テキストの読みの深さが問われます。



### 交渉ゼミ

会沢 恒 教授

「交渉」ゼミと通称される当ゼミ。我々が参加している大学対抗交渉コンペティションでは、実際のビジネスを基にした架空の国際取引を題材として、模擬仲裁と模擬交渉が行われます。この大会は、全国の有力大学に加え海外からも参加校があり、実務法曹や企業法務担当者など、実務の第一線で活躍されている方がジャッジを務める本格的な大会です。普段のゼミ活動では、大会入賞を目指し、ビジネス上のトラブルをどう法律論に組み立てていくかと、双方に望ましい帰結を目指しどう提案して協力していくかについて、実際にやってみて、文字通り「身につける」ための実践的な課題に取り組んでいます。大学での勉強が卒業後の生活・人生にどうつながっていくかのヒントが、当ゼミにはあります。

#### Student's Voice

仲裁では、自分が企業の代表者として意見を述べるときの緊張感、交渉では、新しいプロジェクトを始動させるときのワクワク感が印象に残っています。法律を実際に(使う)という思考回路は、交渉ゼミだからこそ得られるものだと感じています。





北海道大学法学部・大学院法学研究科には、  
およそ70名の教員が在籍しています。

北大法学部・法学研究科に所属する  
各教員については、こちらをご覧ください。



## 国際政治経済学

Pick up!

### 土井 翔平 准教授

なぜ国家は争うのでしょうか。どうすれば国家は協力し合えるのでしょうか。私はこうした問題関心のもと、経済と安全保障に焦点を当てつつ研究をしています。

国家間の貿易や投資は互いに経済成長を刺激し、win-winな関係を作ると考えられます。しかし、貿易で稼いだ資金で兵器を購入したり、投資によって重要技術が流出したりと、安全保障の面では困ったことも起こります。通商関係は平和をもたらすのか、株式投資は国際問題を解決するのかといった問いについて、数学やデータを用いて分析をしています。

法学部なのに数学やデータ?と思われるかもしれませんが。学問は知の総合格闘技のようなもので、使えるものは何でも使うものだと思います。政治学と言っても、哲学や歴史学、経済学、社会学、心理学などさまざまな学問が登場してきます(数学をやらないといけないわけではないので安心して下さい)。大学での学びは皆さんの想像を越えた、懐の深い、知的好奇心を満たすものなのでしょう。北大法学部もまた多様な学びの機会を提供する場ですので、ぜひ楽しみにしていきましょう。



#### 略歴

2013年京都大学法学部卒業、2019年京都大学大学院法学研究科博士後期課程修了、博士(法学)。国立情報学研究所特任研究員、日本学術振興会特別研究員(PD)などを経て、2020年より北海道大学大学院法学研究科准教授、2022年より大学院公共政策学連携研究部准教授。



## 北大法学部 × SDGs

### SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



環境問題と持続可能な資源管理を、  
北海道で考える



#### 略歴

1989年東京大学法学部卒業、1991年英国ケンブリッジ大学LL.M課程修了。東京大学法学部助手、(文部省)学位授与機構審査研究部助教授、静岡県立大学国際関係学部助教授などを経て、2008年より北海道大学大学院法学研究科教授。

## 国際法

### 児矢野 マリ 教授

世界はグローバル化し、環境問題や資源・エネルギー問題は複雑になっています。その解決のためには、国際法と国内法、法と政策、社会科学と自然科学が一丸となり答えを見つけなければなりません。例えば、気候変動に関する政府間パネル(IPCC)報告書をふまえ、国連気候変動枠組条約・パリ協定を、日本社会の法と政策でいかに受けとめて脱炭素を推進するか。また、持続可能な漁業の実現のため、国連海洋法条約や多くの漁業条約に、漁業・魚食大国の日本はいかに関わっていくのか。北大法学部を拠点に、全国の法学(国際法・国内法)・政治学(国際関係論・海洋ガバナンス論)と生態学・水産科学などの研究者が協働し、海外の研究機関と連携しながら、文理融合の学際研究を進めています。人類の将来のため、法学・政治学の役割を一緒に考えましょう。

## 民法

### 曾野 裕夫 教授

人が生きていくためには、食糧の持続的な確保が欠かせません。グローバル化した経済のなかで、「誰一人取り残さない」ように食糧を供給することは人類規模の課題です。そこで法学部と農学部の研究者からなる私たちの学際的研究グループが取り組んでいるのは、農業の担い手と農地をどう確保するか、食品の安全・品質についての認証基準はどうあるべきか、ブランド(例えば、夕張メロン)を保護するために知的財産権をどう活用すればよいか、巨大企業による「種子の支配」にどう対応すべきかなどです。農業を持続可能なものとするために、どのような法制度が効果的かつ公平なのか。日本の食糧基地ともいわれる北海道でこそ、考えるにふさわしい課題だと思いませんか。



#### 略歴

1987年北海道大学法学部卒業、1994年北海道大学大学院法学研究科博士課程単位取得退学。金沢大学法学部助教授、九州大学法学部助教授などを経て、2004年より北海道大学大学院法学研究科教授。



**イギリス**  
● エジンバラ大学

**フィンランド**  
● ヘルシンキ大学

**ドイツ**  
● ルートヴィヒ・マクシミリアン大学ミュンヘン

**ベルギー**  
● ルーヴェン・カトリック大学

**フランス**  
● パリ政治学院  
● ボワチエ大学

**中国**  
● 北京大学  
● 清華大学  
● 西南政法大学  
● 長春理工大学

**韓国**  
● 済州大学

**日本**  
● 北海道大学

**台湾**  
● 国立台湾大学  
● 国立政治大学

**香港**  
● 香港中文大学

the UK



**イギリスへ留学**  
エジンバラ大学

**郡山 結人さん**

留学先では国際関係学、国際開発学、アフリカ学、ジェンダー学の授業を受講しました。どの授業内でも植民地主義からの脱却、環境、ジェンダーについて扱う回があり、これらの問題に取り組むサークルが多くあるなど、日本との意識の差を感じました。また留学中はトビタテ留学JAPANと新渡戸カレッジの奨学金を受給しました。他にも北大の提供する奨学金や民間の奨学金など様々な種類が存在するので、金銭面で心配がある方も諦めずに挑戦してみてください！



U.S.A



**アメリカへ留学**  
サンディエゴ州立大学

**酒井 優多さん**

様々な国の人や文化と関わりたいと考えていたため、留学生の割合が非常に高いサンディエゴ州立大学に行くことに決めました。政治やジェンダー格差に関する講義や本場のスポーツ産業についての講義など、幅広いトピックについて学びました。新渡戸カレッジでの経験から外国人とのディスカッションや英語でのプレゼンテーションに物怖じしなかったのでもいスタートダッシュを切ることができたと思います。この経験を経て将来の目標が明確になり、選択の幅が広がったことを実感しています。



カナダ  
● アルバータ大学

アメリカ  
● サンディエゴ州立大学  
● ウィスコンシン大学マディソン校  
● オハイオ州立大学  
● オクラホマ大学  
● ハワイ大学マノア校

Hong Kong



**香港へ留学**  
香港中文大学

**劉 璟嫣さん**

世界的な模擬国際商事仲裁大会の一つであるVis East Mootへの参加をきっかけに、国際売買法の条文の起草過程において、異なる法体系による意見や主張の対立と妥協があることに興味を持ちました。そこで、大陸法と英米法の比較に関して、香港の契約法・会社法や中国法などについて学びました。また、その国の独特な文化・歴史背景に基づく法制度が作られていることも面白く感じました。授業中は、世界各地から集まる学生とのディスカッションを通して、多角的な視点を養い、グローバルな法学研究の視野を広げる貴重な経験となりました。



### CHECK!

### 交換留学制度

北海道大学法学部では、世界5カ国・10校と学生交流協定を結んでいます。このほか、北海道大学として53カ国・地域の205機関と大学間交流協定を結んでいます(2025年3月現在)。学生は、学内選考を経て、これらの協定大学に数カ月から1年間の「交換留学」をすることができます。

海外の協定大学に交換留学として留学する場合には、北海道大学に授業料を納付すればよく、留学先機関への納付は必要ありません。また、留学先の大学で修得した単位は、一定の条件で北海道大学法学部の卒業必要単位として認定されるため、留年せずに卒業することも可能です。

### 国際感覚を鍛えるプログラム

北海道大学には、全学教育科目として提供される多様な外国語科目に加え、グローバル社会で活躍するために必要なスキルとマインドを身につけるプログラム「新渡戸カレッジ」があります。

新渡戸カレッジ  
<https://nitobe-college.academic.hokudai.ac.jp/>

北大生のための留学ガイド  
<https://be-global.oia.hokudai.ac.jp/>



### 世界的な模擬裁判大会に参加

法学部には、法学の専門分野におけるグローバル人材の育成を目指す科目として、国際法や国際商取引法について、ニューヨークや香港で開催される世界的に有名な模擬裁判大会に出場し、上位入賞を目指すためのゼミがあります。これらのゼミでは、法学の専門知識をふまえて、英語での書面の作成やディベートの能力、さらには戦略的対応能力が培われます。



### 日本・台湾学生交流プログラム

グローバル人材の育成は、英語を使うことだけではありません。法学部には、台湾を訪問し、日本語や中国語を用いた研究会を行い、台湾の法律学系の学生と交流し、台湾の立法・行政・司法機関などの見学を通じて、日本の影響を受けつつ独自の発展を続ける台湾法を学び、東アジアで活躍できる人材を育成する授業があります。



# 卒業後の進路

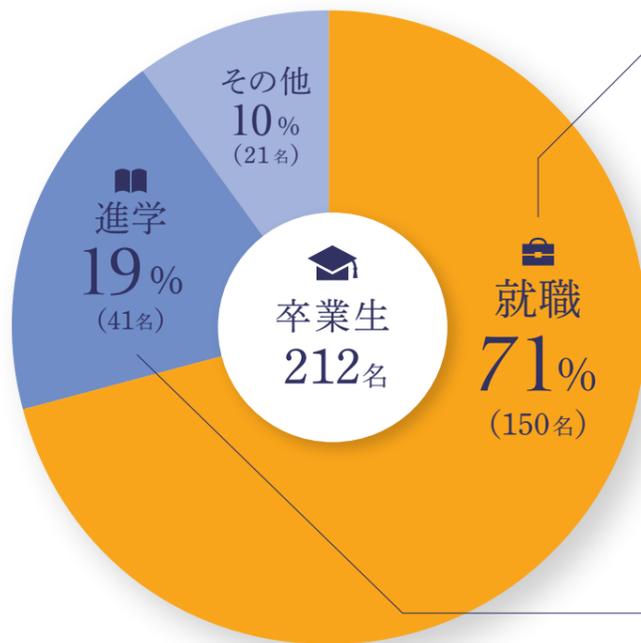
法学部で身につけた専門知識やリーガル・マインドによって、どのような問題に対しても一定のバランス感覚と判断力で解決する能力が養われます。北海道大学法学部を巣立った卒業生は、このような能力を活かして、それぞれの道で活躍しています。

## データでみる卒業生の進路

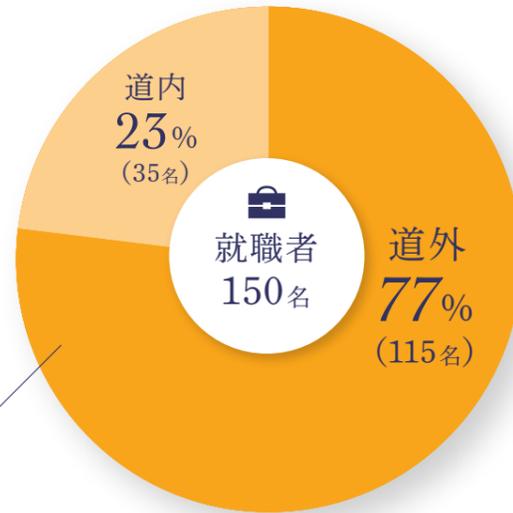
(2025年卒業生)

本学部の卒業後、直ちに就職する人は卒業生全体の7割です。本学部には全国から数多くの学生が集まっていることもあり、卒業生は全国各地で活躍しています。毎年多くの卒業生が、国家公務員(総合職・一般職)試験を経た中央官庁の職員や裁判所の事務官などの国家公務員、各都道府県庁、警察、市町村役場などの地方公務員として活躍しています。民間企業の業種も極めて多岐にわたっています。卒業生の多くが希望に合った業種で社会人としてのスタートを切っており、将来の活躍を期待されています。

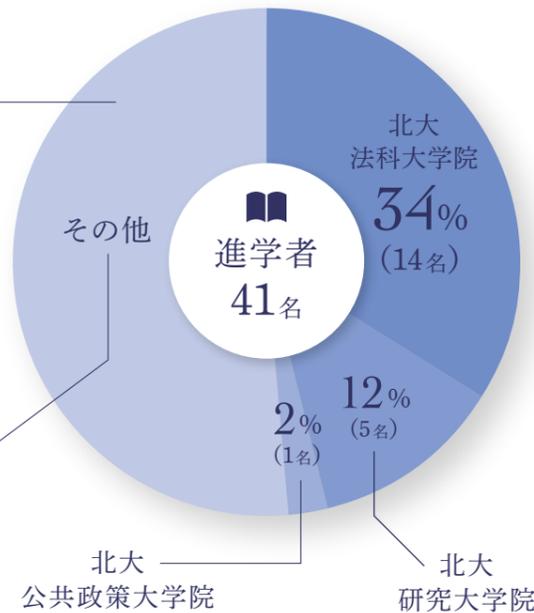
### 卒業生全体の進路



### 就職先の地域内訳



### 進学先の内訳



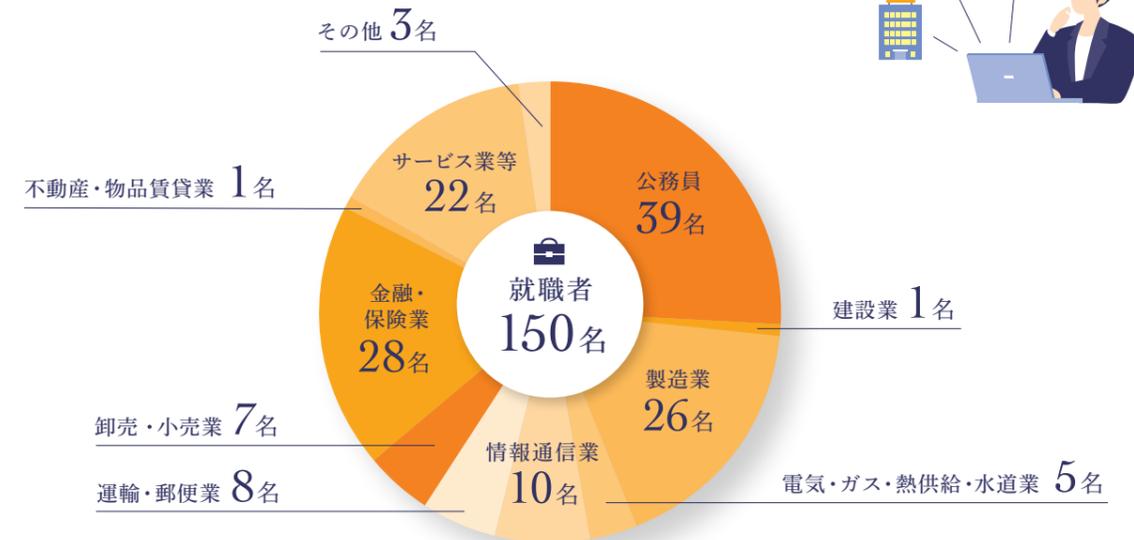
- 京都大学法科大学院
- 東京大学法科大学院
- 一橋大学法科大学院
- 慶應義塾大学法科大学院
- 大阪大学法科大学院
- 北大会計専門職大学院 など

学部で学んだ勉強についてより専門的に深めたい人は、大学院に進みます。大学院に進学する人は、卒業生の2割です。北海道大学の法学・政治学を学ぶ3つの大学院のほか、他大学の大学院に進学する人もいます。



## 就職

### 就職先の業種内訳



### 近年の主な就職先

- 公務
  - 内閣府、総務省、財務省、文部科学省、厚生労働省、経済産業省、国土交通省、環境省、防衛省、財務省税関、会計検査院、検察庁、国税庁、東京都庁、裁判所、北海道経済産業局、北海道開発局、北海道財務局、札幌市役所、北海道庁、北海道警察、群馬県庁、三重県庁、新潟県庁、村上市役所、豊中市役所
- 製造・建設業
  - 凸版印刷、トヨタ自動車、パナソニック、日立製造所、東芝、旭化成、セイワホールディングス、日本ヒューレットパカード、日本製鉄、ENEOS、JFEスチール、大林組、竹中工務店、クボタ、島津製作所、大成建設、ソニー、東レ、富士フイルム
- 電気・ガス・熱供給・水道業
  - 北海道電力、北海道ガス、JERA、東京電力ホールディングス
- 情報通信業
  - 楽天、NTTドコモ、NTTコミュニケーションズ、NTTデータ、西日本電信電話、東日本電信電話、日本放送協会、北海道新聞社、博報堂DYメディアパートナーズ、任天堂、スクウェア・エニックス、コナミデジタルエンタテインメント、ジョブカン会計、TIS、TBSスパークル、フューチャー、トランス・コスモス、東急エージェンシー、富士通
- 運輸・郵便業
  - 全日本空輸、商船三井、北海道旅客鉄道、東日本高速道路、日本郵便
- 卸売・小売業
  - ニトリ、阪和興業、伊藤忠丸紅鉄鋼、三菱商事、ホクレン商事、ゲンキ
- 金融・保険業
  - 北海道銀行、北洋銀行、日本銀行、三菱UFJ信託銀行、日本政策金融公庫、日本政策投資銀行、野村證券、日本生命保険、明治安田生命保険、東京海上日動火災保険、北海道農業共済組合連合会、SMBC日興証券、滋賀銀行、みずほフィナンシャルグループ、三井住友銀行、りそなホールディングス、大同生命
- 不動産・物品賃貸業
  - 三井不動産リアルティ、セキスイハイム中四国、ビッグ、JA三井リース
- 学術研究・専門・技術サービス業
  - アクセンチュア、有限責任あずさ監査法人、新エネルギー・産業技術総合開発機構、PwCコンサルティング合同会社、野村総合研究所、三菱総合研究所
- 教育・学習支援業
  - 北海道大学、東京大学、鳥取大学
- その他
  - 日本年金機構、道東あさひ農業協同組合

## CHECK! キャリアデザインに応じたサポート

### 北海道大学全体の取り組み

企業への就職・公務員試験の対策については、北海道大学の全学的就職支援組織である「キャリアセンター」が、全ての北大生をサポートしています。各種の求職情報をオンラインで検索・閲覧できる「就職支援システム」、進路・就職相談、企業・官庁の説明会、面接や試験対策の各種ガイダンス・セミナーなど、きめ細やかな支援が受けられます。

北海道大学は、キャリア教育の一環として、学生が関心のある企業・行政機関に派遣され、数週間、仕事を体験するインターンシップ(就業体験)を支援しています。インターンシップへの参加は、単位として認められるものもあります。

### 法学部の取り組み

法学部でも、学部主催の就職ガイダンスや、北海道庁・札幌市役所などの協力を得て、学部独自のインターンシップを行っています。

法学部では、将来法曹になることを目指して勉強する学生たちが集まる「北法会」や国家公務員総合職(いわゆるキャリア官僚)を目指す人を支援する「北公会」が、それぞれ公認サークルとして活動しています。

北海道大学キャリアセンター  
<https://cc.academic.hokudai.ac.jp/>



## 進学

北海道大学には、法学・政治学を学ぶことのできる大学院として、研究大学院、法科大学院、公共政策大学院の3つの大学院があります。



### 「複眼的専門知」を極める 研究大学院

<https://www.juris.hokudai.ac.jp/>



学部教育で得た法的知識を専門分野に特化した形で深化させ、学問の発展に貢献できる高度な専門人材を育成することを使命とした大学院です。

修士課程には、研究者を目指し、博士後期課程(3年間)への進学を念頭におき、博士後期課程での本格的研究の準備作業として法と政治を学ぶ「研究者コース」と、学部教育や社会人経験で得られた法学・政治学の知識を深化させ、高度な専門性を備えたジェネラリストを養成する「専修コース」があります。

学位	修士課程2年間で、修了者には「修士(法学)」の学位を、博士課程3年間で、修了者には「博士(法学)」の学位を授与します。
進路	研究者、公務員、企業法務、地域で活躍する団体職員など

### 法曹を志す人の可能性を拓く 法科大学院

<https://www.juris.hokudai.ac.jp/lis/>



法曹(裁判官、検察官、弁護士)を志す皆さんが、司法試験合格のための準備をする専門職大学院です。

法科大学院を修了すると、司法試験の受験資格が認められますが、一定の要件を満たせば法科大学院在学中にも受験資格が与えられます。知識としての法律の基礎を習得するだけでなく、法曹倫理や実際の法律相談あるいは法律事務所での業務内容を体験することもできます。研究者教員だけでなく、実務の現場で活躍している裁判官や検察官そして弁護士などの法曹も授業を担当しています。

学位	通常は3年課程ですが、一定程度の法的素養があると認められた者(法学既修者)は、2年間で修了できます。修了者には「法務博士(専門職)」の学位を授与します。
進路	法曹(裁判官、検察官、弁護士)など

### 政策プロフェッショナルを育む 公共政策大学院

<https://www.hops.hokudai.ac.jp/>



北大公共政策大学院(HOPS)は、「公共政策及び公共サービスに関する企画、立案、実施、評価等を担う専門家及び職業人」の養成を目的とする専門職大学院です。

日本の公共政策大学院のなかで唯一、本州の外にあり、日本の「地方」に突き付けられているローカルな公共政策課題を実感できます。中央省庁や政府機関などの実務家も授業を担当し、事例研究や現地調査といった実践的な授業において、リアルな公共政策課題について横断的・体系的に学ぶことができます。

学位	通常2年課程で、修了者には「公共政策学修士(専門職)」の学位を授与します。
進路	公務員、報道関係、金融・コンサルティング系の民間企業など

## 早期卒業制度

法学部での基礎的な勉強から大学院での専門的な勉強までを密度濃く進めたい人のために、早期卒業制度があります。

法曹養成プログラムまたは大学院進学プログラムに登録した学生のうち、成績優秀者は、通常より1年早く法学部の学位を取得して、大学院に進学することができます。

早期卒業制度は  
2019年度入学から始まり、  
**2025年には、4名の学生が**  
この制度により早期卒業しました。

**Point**

学部入学から大学院修了までの時間・授業料負担が1年分軽減されます。

**Point**

学部在学中に大学院の授業を早期履修できます。

	大学入学	1年	2年	3年	4年	5年	6年
通常		学部4年				大学院2年	学部入学から6年で法務博士or修士修得
早期卒業制度		学部3年 法曹養成プログラム or 大学院進学プログラム			大学院2年	5年で法務博士or修士まで修得	

早期卒業



### 法科大学院を経由して法曹になる最短ルート

法曹を志す人には、北海道大学法科大学院と連携した一貫教育のための法曹養成プログラムがあります。

法曹養成プログラムに登録して早期卒業し、在学中に司法試験を受験すると、最短で大学入学から約6年後に法曹資格を取得できます。  
※このほかに、司法試験予備試験に合格して司法試験を受験する制度があります。

	大学入学	1年	2年	3年	4年	5年	6年
法曹養成プログラムで早期卒業 + 在学中受験		学部3年 法曹養成プログラム			法科大学院2年	司法試験予備試験 在学中に司法試験受験※	司法修習 最短6年で法曹に

早期卒業

※一定の条件を満たすと、在学中受験が認められます。法曹養成プログラム出身者以外の人でも、在学中受験が可能です。

## 早期卒業制度利用者の声

三重県 学校法人三重高等学校 出身  
2023年卒業  
北海道大学研究大学院に進学  
**三田 琳太郎さん**

学部2年生で受講したヨーロッパ政治史の講義において、研究したいテーマに出会ったものの、学部では専門的な研究指導の機会が限られており、より早く本格的な指導を受けたいと考えて早期卒業制度を利用しました。大学院進学プログラムに付随する早期履修制度を活用して学部3年生で大学院の演習を履修したほか、進学後は研究に専念して専門性を深め、政治学研究的幅を広げる貴重な経験となりました。今後はコンサルティングファームにてデジタル技術を活用した社会構造の変革に取り組み、研究で培った調査分析スキルを実社会で活かしていきたいと考えています。

北海道 札幌北高等学校 出身  
2025年卒業  
北海道大学法科大学院に進学  
**百々瀬 あかりさん**

学部一年次のうちから法科大学院への進学を経た法曹へのルートを考えていた自分にとって、早期卒業制度はとてもありがたく感じています。学費を節約できることは勿論、より濃密な法学の学習環境に身を置くことができます。他の院生との1年以上の学習量の差を自覚できるからこそ、追いつこうと奮起して法学に打ち込めるのだと思います。早期卒業の申請資格を満たすことは簡単とは言えませんが、授業の内容を確実に身につけることを意識した勉強を習慣づければ決して越えられない壁ではありませんでした。今後も地道な学習を積み重ね、まずは司法試験合格を目指して励みます。



日本製鉄株式会社  
営業総括部輸出・通商総括室通商総括課 主査

2017年卒業

小川 綺大 さん



## 北大で培った経験を武器に世界と戦う

北大時代を振り返るとついでこの間のようで、もう10年近く経ったのかと驚いています。私は当時交渉ゼミに所属しており、架空の国際取引を題材とした模擬仲裁・交渉を行う大会に2年間参加しました。大会では仲間と共に、法や契約に基づく論理的な戦略を練り上げ、仲裁の場でその戦略を実行するという、授業のみでは得られない法律を「使う」経験を積むことができました。現在、私は日本製鉄株式会社に勤めています。近年、各国政府は自国産業を保護するために、輸入する製品に対して、アンチダンピング(AD)という輸入制限的な通商措置を頻繁に実施しています。私は企業の通商担当として、そうした措置の濫用から日本の輸出産業を守るため、日本政府や業界関係者とも協力し、その最前線で戦っています。通商措置は貿易に関する国際ルールであるWTO協定を根拠としており、「ルールに基づいた主張を行

い有利な条件を勝ち取る」という点でゼミの経験が非常に役立っています。法曹でなく民間就職を選んだとしても、大学での学びは無駄にはならないことを実感しています。

北大は素敵で面白い人が集まる場でもあります。お世辞にも真面目な学生とは言えなかった私が無事卒業できたのは、北大で出会えた友人たちのお陰に他なりません。とはいえ遊びの中にも学ぶべきことは多く、皆さんにも(勉強と同様)全力で遊んでほしいと思います。北大はそうした機会にも恵まれる場所です。大学時代の出会いは一生ものだと思いますが、今現在も彼らとは家族ぐるみの交友が続いています。

北大での学びと出会いは、たとえ意図せずとも人生の財産となります。ぜひ北大で得られる全てを大切に充実した大学生活を送ってください。

在学時に興味を持って学習した科目は?	学生時代、勉強以外に取り組んだことは?	北大法学部を一言で表現すると?
交渉ゼミ	サークル活動、レジャー他	面白いヒトやモノと出会える場所。



総務省(採用区分:本省総合職)

2023年卒業

佐々木 星誌 さん

## 北海道という場所で法学を学んで

昔からぼんやりと「生まれ育った北海道のために働きたい」と考えていたのですが、大学入学前は自分が具体的に何をしたいのか、北海道のために何ができるのかよく分かっていませんでした。昔から憧れの存在だった北大に入学後も、単位を取ることに必死な日々が続いていました。

転機は大学3年生のときに地方自治論のゼミに入ったことです。多くの仲間と「地方自治の在り方」という壮大なテーマについて議論することで、いかに自分が行政のサービスに支えられているか良く理解できました。その他の法学部の授業を通して、自分の生きている世の中がどのように動いているかについて解像度が高くなり、社会が持つ課題にアンテナを高く持てるようになったと感じます。

そのような学びを通じて、人口減少など様々な社会課題が山積

みの中、この北海道、ひいては日本全国の人々の生活を守るにはどうしたら良いだろう?と考え、自分が何をしたいかが明確になりました。進路に悩んだ時も、先生や北大法学部で共に学んだ仲間からの言葉が、自分の選択について背中を押してくれました。

私は、現在総務省で、地方が少しでも元気になれば、故郷の北海道へ恩返しができるという思いを持って働いています。そのような思いを持つきっかけをくれたのは、北大法学部で出会った人たち、経験のおかげです。今後辛くなることがあっても、初心を忘れずに精一杯努めようと思っています。

可能性の宝庫である北海道という地域で、社会の在り方に関する法学を学べたことは私にとって大きな財産となりました。皆さんもぜひ素晴らしい出会いときっかけをくれる北大法学部で学んでみませんか。

在学時に興味を持って学習した科目は?	学生時代、勉強以外に取り組んだことは?	北大法学部を一言で表現すると?
地方自治論	部活動(洋弓部)	出会いときっかけをくれる場所

パリ政治学院(Science-Po Paris)・修士課程1年生

2024年卒業

牧 桜子 さん



## 北大での学びを糧に、フランスでも挑戦を続ける

私は、北海道大学を卒業後、交換留学していたフランスのパリ政治学院(Science-Po Paris)の大学院に進学し、現在は国際安全保障を中心に学んでいます。大学院では、地政学的リスクや航海リスクの分析を通じた企業活動の保護、EUの貿易政策などを専門的に学んでいます。世界中から集まった学生たちと共に学ぶ日々の中で、一つの出来事にも多様な見方や考え方があることを日々実感しています。

北大に入学した当初は、大学院への進学、それも海外の大学院に進むことなど考えていませんでした。しかし自分の興味に従って学びを深めていくうちに、「せっかくなら挑戦してみよう」という前向きな気持ちが芽生えてきました。

北大での4年間を振り返ると、何よりも「挑戦する機会」に恵まれていたと思います。法学部のサークル活動や学内外での多様なプロジェクトなど、自分の関心を行動に移している仲間の姿に多くの刺激を受けました。そうした友人たちのおかげで、私自身も

思い切って一步を踏み出すことができたと思います。

3年次からの交換留学をはじめ、大学院への進学、さらには在札幌米国領事館でのインターンシップなど、様々な経験を積むことができましたが、それも北大で出会った仲間や先生方、そして授業を通じた学びがあってこそです。特にゼミ形式の授業では、活発な議論を通じて自分の考えを深めることができ、学びの楽しさを実感することができました。

北海道大学法学部には、法学・政治学の両分野から自分の関心に沿って学びを広げられる環境が整っています。そして、北大で培った「挑戦する気持ち」は今もフランスでの大学院生活を支える大きな力となっています。

多くの学びと出会いが待っているこの環境で、ぜひ学生生活を築いてみてください。

在学時に興味を持って学習した科目は?	学生時代、勉強以外に取り組んだことは?	北大法学部を一言で表現すると?
戦争史ゼミ、中国リベラリズムゼミ、国際法、法哲学	北海道大学大学祭全学実行委員会(北大祭事務局)	どんなことにも挑戦できる



札幌国際法律事務所 弁護士

2007年卒業

山田 幸司 さん

## 道外の方にこそオススメ

北大は、とにかく広いです。

物理的に広いというだけでなく、たくさんの学部があります。1年生は「一般教養」として、法学部棟ではなく教養棟で、他学部の学生と一緒に授業を受けます。私が受けたプログラムの一つに、水産学部の漁船に乗って海に出るというものがあり、様々な学部からの学生が参加していました。むしろ、法学部生は私1人でした。何日も一緒に過ごしてとても仲良くなり、一部とは今も付き合いがあります。

2年生になると、法学部の授業とゼミが始まります。2年のゼミでは、政治理論に関する難解な本を読みました。3年と4年では労働法ゼミに所属しましたが、法律の勉強よりも、ゼミの仲間と酒を飲んだりバンドを組んだり山に登ったりしていました。

弁護士になるためには法律の知識が必要でしたが、弁護士とし

てよい仕事をするためには、人間をよく理解し、社会の様々な営みに対して正しく洞察できる経験が必要でした。例えば、矛盾する証拠がある場合に、なぜそれがいいのか、意図的に作られたのか、であれば動機はなにか、それともミスなのか、であれば何をどうして間違えたのか、など、証拠に直接表現されないストーリーを的確に見抜く力や、それを表現する力が必要です。北大での幅広い経験が、何年も経ってから活かしていることを強く実感します。他方で、脇目も振らずに司法試験の勉強に専念している同期もおり、そのようなひたむきな努力をサポートしてくれる先生もいらっしゃいました。4年間をどのように過ごすか、それぞれのビジョンでの大学生活を全て受け入れる懐の深さが北大法学部にはあります。

私は道外出身者でしたが、4年間だけ過ごす予定だった北海道に、気が付けばもう23年間もいます。20代前後という多感な時期を北大法学部と北海道で過ごし、かけがえのない経験をして将来に羽ばたいて欲しいと思います。

在学時に興味を持って学習した科目は?	学生時代、勉強以外に取り組んだことは?	北大法学部を一言で表現すると?
民事訴訟法	読書	懐が深い

至地下鉄麻生駅

北18条駅

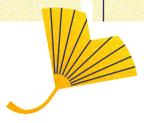
北12条駅

地下鉄南13条

JR札幌駅

至旭川・千歳方面

### 移動時間の目安



- A JR「札幌駅」から  
B 法学部まで 徒歩 12分

---

- C 地下鉄「北12条駅」から  
B 法学部まで 徒歩 10分

---

- D 地下鉄「北18条駅」から  
E 高等教育推進機構まで 徒歩 8分

---

- B 法学部から  
E 高等教育推進機構まで 徒歩 12分

1年次はこちらで勉強します

2年次以降は主に  
こちらで勉強します。

北海道大学 法学部  
法学研究科・法学部教務担当

〒060-0809  
北海道札幌市北区  
北9条西7丁目  
TEL 011-706-3120,3121  
www.juris.hokudai.ac.jp



2025年6月発行

